

福岡女子大学 同窓会

第98号



筑紫海会会報



事務局 福岡女子大学地域連携センター内 TEL・FAX (092) 692-3194
ホームページ-http://www.fwu.ac.jp/tukusimikai/または「筑紫海会」で検索

会長挨拶 筑紫海会会長 江島 玲子(大21食)



コロナ禍の昨今、会員の皆様はどのようにお過ごしでしょうか。日頃から同窓会活動へのご理解ご協力を頂き、感謝申し上げます。さて、昨年度は、大学と

向井新理事長・学長をお迎えして



ご紹介

向井 剛(むかいつよし)氏
大阪府出身
昭和27年生まれ
専門分野 中世英語英文学
主な職歴 福岡女子大学 文学部専任教授
平成15年 福岡女子大学

梶山理事長・学長のご退任に寄せて

任期満了に伴い、梶山千里理事長・学長が、令和3年3月末日をもって、退任なさいました。
梶山学長におかれましては、10年の長きに亘り、福岡女子大学の発展に寄与されました。
平成23年(2011)学長就任と同時に、従来の制度を改め、国際文学部・3学科の新生福岡女子大学が誕生しました。
建学の精神として「国際感覚を備えた女性リーダー

タイヤの空気が違ってても安全な運行は不可能です。経営規模や組織の点から、同窓会は大学にはとうてい及びません。それでも両輪となり得るのでしょうか。
同窓会は、同窓生の歴史を蓄積しています。大学教育のありさまを社会人として具現化し、自己実現や社会貢献を行う姿を発信し続けることが役割ではないかと考えています。このために、私たちはその時々で遭遇した事態に対し、おかし

いことはおかしいと、きちんと発信する姿を見せることも大切だと思います。
昨年度は緊急事態宣言の対応で、理事会延期や書面による理事会の実施、総会延期後の書面議決による総会実施等、折々で、どのような対応を行えば、安心安全に皆様の意思確認ができたかを検討し遂行いたしました。
11月には書面による総会を実施し、多くのご返事を頂き大変感謝申し上げます。

先生のお名前を懐かしく耳にされた同窓生も多いかと存じます。先生は今年度入学式の式辞の中で「私は、福女大をアカデミック職能集団であるギルドと考えています。西洋中世のギルドの会員には資格が必要であり、入会を認められた会員には、特権が付与されました。ここにプライドが生まれます。そこで身につけた職能を社会のために発揮する義務が生じます」と、大

私ども同窓生もまたギルド仲間として共に活動することのできる、大学や学生と支え合う、よりよい関係が築けますよう、改めて思いをい、致しました。
今後のご活躍を心から祈念し、ここに紹介いたします。

最後にになりましたが、梶山千里理事長・学長のご健康とますますのご活躍を祈念申し上げます。
令和5年(2023)、福岡女子大学は、福岡県立女子専門学校開校以来、創立100周年を迎えます。一万四千人の同窓生にとりまして、大学の発展はこの上ない喜びであり、感謝に堪えません。また、100周年記念事業の実施にむけて、多大なご尽力を賜りました。今後大学と同窓会がともに手を携え進んでまいりますことを願ってやみません。

創立100周年記念事業 寄附金

3月末現在 48,128,000円

ご協力に感謝申し上げます

振込用紙を同封しております。詳しくは、振込用紙裏面をご覧ください。

令和3年度 筑紫海会総会(書面議決)のお知らせ

令和3年度筑紫海会総会を昨年度に続き、書面議決にて実施いたしたくご案内申し上げます。総会の開催に向け、慎重に検討を重ねてまいりましたが、コロナの状況に鑑み、会員の皆様の命を守ることを第一に考え、この結論にいたしました。

※当番学年

令和4年度 大学37, 38, 57, 58, 66回生

令和5年度 大学38, 39, 59, 60, 67回生

ご予定いただきました会員の皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願いいたします。つきましては、ご理解の上、別紙の「令和2年度書面議決意見集約書」並びに「令和3年度総会資料」をご覧いただき、確認の上ご回答をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

同窓会への寄附

3月末現在、12万9千円の寄附がありました。

ご協力に心から感謝申し上げます。

す。この結果につきまして、議案に対する結果のみをホームページにてご報告させていただきます。提出いたしました各議案に対し、賛成多数にて同窓会の方針を承認いただきました。ありがとうございます。
改めて、別紙にて説明をさせていただきます。
今年度も、先を見通すことが難しい状況ですが、その時々に応じ臨機応変に対応したいと存じます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

総会当番学年ご挨拶 別府 きみ(大37回)

会員の皆様、生活環境が変化する中、健やかに過ごされることと存じます。
2020年の総会は予定が変更となり、ご迷惑をおかけいたしました。集まることのできる、大学や学生と支え合う、よりよい関係が築けますよう、改めて思いをい、致しました。
今後のご活躍を心から祈念し、ここに紹介いたします。

先日、テレビで福岡女子大附属図書館が映っていました。画面を見た瞬間、女子大の図書館だ！と惹き付けられました。木造建築が美しく、美しいとの嬉しい話題でした。
しかしこの1年、何度か訪れたキャンパスに学生の姿は少なく、綺麗になった校舎がより寂しく感じられます。後輩たちはどう過ごしているのでしょうか。皆様、寄附のご協力もよろしくお願いいたします。

「知らぬ間に他の人に感染させるのではないかと心配し、うかつなことができず、我慢することが多くなりました。
▼コロナ禍で東京オリピック・パラリンピック、成人式や各種公演、コンサート等の中止や延期を余儀なくされました。就職や進学など思うようにならなかった方も多かったのでは、ないでしょうか。パートや派遣の雇止めや生活に困窮している人の特集を見ることが多くなりました。若い人の自殺の増加も気になります。これまで努力を重ね、挑んできたことが活かせなくなりました。多々あるでしょう。でも、生きていけば必ず良いことがあると思つて命だけは絶たないで欲しいものです。

▼世界中に新型コロナウイルスの生活は一変しました。
▼マスクの着用。3つの密(密接・密集・密閉)の回避、手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行。飛沫を飛ばさないなど、新しい生活様式が求められた1年が経過しようとしています。
会いたいと思う大切な人に自由には会えないという厄介なウィルスです。

波紋



▼百年に一度の有事といわれ不安に突き落とされましたが、「ワクチン接種」の希望の灯りも見えてきました。
▼困難を乗り越えた先には希望の虹が架かり、みんなが幸せになれる時代がきつと来ると信じて。

川原 郁子(大27食) 北九州支部



日本経済新聞出版 刊

『新・紫式部日記』

「新・紫式部日記」の受賞、まことに...

夏山かほるさん

お祝いいただきありがとうございます...

夏山

9年ぐらいい前に、学生時代に学んだ...

日経 小説大賞受賞

夏山かほるさん



プロフィール 夏山かほる 文壇デビュー...

「新・紫式部日記」の受賞、まことに...

「新・紫式部日記」の受賞、まことに...

「新・紫式部日記」の受賞、まことに...

「新・紫式部日記」の受賞、まことに...

「新・紫式部日記」の受賞、まことに...

「新・紫式部日記」の受賞、まことに...

「新・紫式部日記」の受賞、まことに...

「新・紫式部日記」の受賞、まことに...



日本経済新聞出版 刊



令和元年度 熊本支部総会



寮生支援グループ

支部だより

熊本支部

同窓会は心の拠りどころ

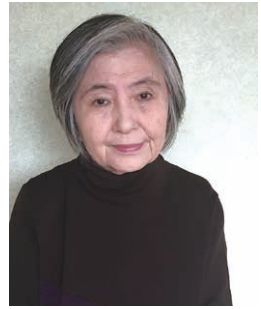
支部長 魚住 寿穂(大22被)

熊本支部は会員98名。毎年一回、総会を開いている...

同窓会は心の拠りどころ... 令和元年度は、7月7日、復興工事の進む熊本城...

ドキュメンタリーを本に

馬場 明子さん(大20回)



昨年古希、70歳を迎えた。エエーッ！開いた口がふさがらないほど年をとってしまった。驚きである。思い返せば48年前、女子大の掲示板に「テレビ西日本アウンサー募集」の張紙を見たのが、全ての始まりだった。数百人の応募者の中から奇跡的に合格したが、アウンサーとしては劣等生、何をやってもパツ

内容が、太平洋戦の激戦地パプアニューギニアでの一ヶ月ロケに加え、国内で探し出した奇跡の生存者の証言を基に、戦争の悲惨を

描いたものだ。

作品は1997年9月に放送されたが、その直後に一本の電話を頂いた。「あなた、いい作品を作ったわねー。」恩師の目加田さくを先生からだった。「放送のお知らせもしていないのにね」と、驚いてしまった。でも嬉しかった。何しろ、卒業後20数年、初めての再会(電話での)だったのだから。

受賞がきっかけで、幾本かのドキュメンタリーを作る幸運に恵まれた。どれも思い出深いものばかりだ。

思いを託した『螢の木』

※①は、62歳の時に出版。以来、かつてテレビ取材したテーマの中から、「もう一度記録したい」と思うものも

そんなキャリアを経て、60歳で定年を迎えたのだが、定年後、私には、やりたいことがあった。それは、「螢の木」を本にすることだった。放送では、証言の何十分の1しか紹介出来なかったからだ。「重い口を開いて、『生きて帰れぬニューギニア』と言われた戦場での体験を語ってくださった証言者に報いたい。ニューギニア戦で無念の死を遂げた兵士たちへの鎮魂にした

のを選び、再取材して本にした。10年間で6冊…。炭鉱の歴史を技術者の視点から描いた『筑豊伊加利立坑物語』、九州大学の蚕の系統保存の歴史をたどった『蚕の城』、長崎の被爆者の生涯を追った『傷ついたマリア 片岡津代さんの祈り』など、どれもテレビ局時代に扱ったもの。いわば、その遺産で現在まで歩いて来た。これらのささやかな記録が、「いつかどこかで誰かの役に立ってくれれば」と願っている。

秋さらば見つづつ徳へと 妹が植ふし屋前の石竹花 咲きにけるかも (巻三・四六四)

篤き心によって蒔かれたなでしこの種は、やがて香気な花をつけ、系譜となつて繋がっていくのだなと、しみじみ思うこの頃である。

※①『螢の木』(二〇一二年未知谷)
※②『花萬葉』目加田さくを著(一九九七年 海鳥社)



食との縁

なっばのな プライベート&オーダーメイドシェフ 渋谷 菜美さん(大33被)

現在、私は調理師の免許を取得し、自宅を改装して「宅配おかず」という仕事を57歳で始めました。工房で作った5日〜7日分のお惣菜をお届けするという仕事です。

た。29歳で東京本社に転勤になったと同時に、飲食業のシステム構築専従の仕事になり、飲食業のノウハウを学び、コンサルができるほどになりました。今も事業を運営していく上でとても役に立っています。

49歳で会社退職後、ヘルスフードマイスター協会代表理事のサロニスタツフとして、マクロビやベジ、味噌・醤油や酵素ジュース・キムチ・酵素玄米などの発酵食品作り等の料理教室のアシスタントや、ハーブやゲルソン療法等の健康にまつわる講座の助手をしていました。それで健康と食、

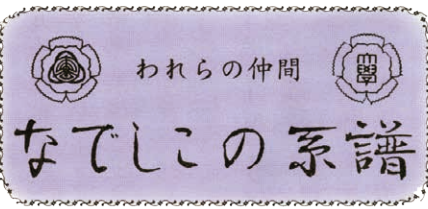
料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方とのご縁も多々でき、起業しやすい環境にあつたと思います。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていましたが、時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたです、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

私自身はマラソンが趣味ですが、なかなかタイムが上がらず、食で何とかならないかと、アスリートフードマイスターの資格を取得し、自分の体調を自分で管理してみようという思いで、大切な痛感しています。

「食」は、IT業界時代、退職後の宇都宮での仕事でも縁があり、今の仕事にもつながっています。

先の見通しができない現状下ではありますが、ある日のNHKテレビ番組で紹介されたアメリカの歌「Do What You Can」の前向きな歌詞に励まされました。来年度こそは多くの会員の皆様をお迎えできる講演会の実施をと考えております。



「なっばのな」のお仕事内容... (List of services and ingredients)



お届けおかずのいろいろ

大学卒業後、ITの仕事に27年間従事してきました

健康と食、

ととなりまして。

熊本までお届けしています。



久米島マラソン2019 クラス別で優勝した渋谷さん

寮生への支援活動を終えて

寮生支援グループ 越智 咲子(大17食)

昨年6月、福岡女子大学国際学友寮なでしこに、留学生と自宅に帰れなかった日本人学生など約110名の学生が在寮していました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、オンライン授業が始まり、大学・国・県の支援策が発表されました。が、寮生は、外出自粛やアルバイトも制限され、生活面また学習面で困難が生じている現実を知りました。そこで、同窓生として何かできないかと考え、数名(代表薄 陽子(大15英))で、6月から一年生の入寮前の8月まで、3ヶ月間支援を行いました。

食品ロス減を目指す活動のフードバンク福岡から、レトルト食品・缶詰等を、グリーンコープ生協からおから、果物・ご飯類等を、

福岡県学校給食会から、乾麺の提供や、その他同窓生やボランティア団体からの協力も得、8回の食料と、280枚のマスク(不織布・手作り)の支援を行いました。

活動終了後、寮生から「食堂閉鎖のため自炊が必須となり、大変助かりました。お陰で、今まで通り勉学に励むことができています。栄養・健康面も考慮していただき本当に感謝しています。」との声を聞き、このコロナ禍でも、寮生が勉学等に励むことができるように、手助けをしようと思つて始めたこの支援活動の趣旨が、ささやかでしたが、寮生に伝わったと思えました。最後にこの活動にご協力頂いた大学学生支援センターと寮関係者、同窓生に心より感謝申し上げます。

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。そもそも、大学時代から飲むことと食べることは大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。

「拡大講演会」の実施を夢見て

筑紫海会事業部 浦 由美子(大26被)

一昨年からの課題である事業部の活動内容の見直しを、過去の会報や理事経験の方々の意見を参考に始めています。大学との共済事業が多くなった反面、好評だった会員向けの講演会が最近では開催できていない事実がありましたので、大学からの情報が少ない中、「できることをしよう」と考え、総会の次に参加者の多いクラス委員会の前半に講演会を開催する計画を立てました。

昨年3月には、日程、講演者、会場(福岡市立美術